

(第2号様式)

北谷 第2402号
令和6年3月14日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北谷高等学校
校長 金城 優子
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月25日	北谷高等学校大会議室	評議員4、職員9
第2回	令和5年12月26日	北谷高等学校大会議室	評議員2、職員10
第3回	令和6年2月26日	北谷高等学校大会議室	評議員3、職員8

2 学校評議員に求めた事項

- (1)本校の教育目標や計画、教育活動の実施、地域連携の進め方などに関する意見
- (2)魅力ある学校づくりを推進するために本校に期待する教育活動に関する意見
- (3)登下校時の安全対策等、安心安全な教育環境の確保に関する意見
- (4)学校評価の結果から見える本校の課題等に関する意見

3 学校評議員の意見

- (1)生徒の学力向上の取り組みを進め、保護者と連携して進学に対する生徒の意識向上を図ってほしい。
- (2)日本学生支援機構の奨学金に関する情報等、学校から保護者へ進路関連の情報提供をしてもらえると進路について子どもの背中を押せる。全て学校頼りではいけないと思うが、進路などについて気軽に学校に相談しにくい親もいるかもしれないので、家庭と学校とが連携しながら子どもの進路を応援していけるようにしてほしい。
- (3)大学でも在籍学生の親を対象にした広報、情報提供の重要性を認識しながら進路指導を行っている。高校の進路決定においても、保護者がどれぐらいの情報を持っているかが重要だと思う。
- (4)生徒は(地域の先輩等)身近にある環境から進路選択の判断をしているかもしれない。進路選択に関して多様な情報を子どもたちに与える必要がある。
- (5)就職活動に取り組む生徒は、ホームページで様々な情報を集められるので、応募先企業についてよく知っているが、ホームページにない情報に関する知識は薄いように思う。進路活動に取り組むにおいては、インターネット上にある情報の信頼性について考えながら、幅広い情報に接する必要がある。
- (6)家族へのサポートがあるために就学を諦めざるを得ない生徒がいると聞く。オンラインを活用した学習機会の提供のあり方等についても考える必要があるのではないかと。
- (7)登下校における自転車の安全な利用について生徒・保護者への注意喚起をしてもらいたい。
- (8)薬物が生徒の身近にある状況なので気をつけて見守る必要がある。
- (9)多くの保護者は学校を信頼していると思う。学校に相談できる保護者は学校のことがわかるのでよいが、学校との繋がりが持ていない保護者への情報提供をどうするか考える必要がある。
- (10)災害時に避難を呼びかけている人が災害に巻き込まれることも多いと聞く。地域防災については、地域でのコミュニケーション促進や防災意識の向上が必要である。地域防災の取組を充実させるためには、マンパワーとして若い力が必要だと感じる。地域と学校との連携を通じた防災の取組も考えられるのではないかと。

4 学校運営に反映した事項

- (1) 就職ガイダンスや講演会の実施、就職支援員の活用等により就職活動に取り組む生徒支援を行った。
- (2) 三者面談を通して奨学金等の進路に関する情報を保護者に提供しており、多数の生徒が奨学金を利用している。
- (3) 沖縄県警察本部生活安全部少年課から講師を招聘し、違法薬物と危険回避能力に関する内容で生徒対象の薬物乱用防止教室を開催した。
- (4) 自転車の安全面等について、生徒指導だよりや保護者通知文で周知をおこなった。

5 課題その他

- (1) 進路指導の更なる充実
- (2) 学校教育活動に関する情報発信のあり方を工夫し、保護者や地域等と連携した開かれた学校運営
- (3) 安全で安心できる学校づくり